

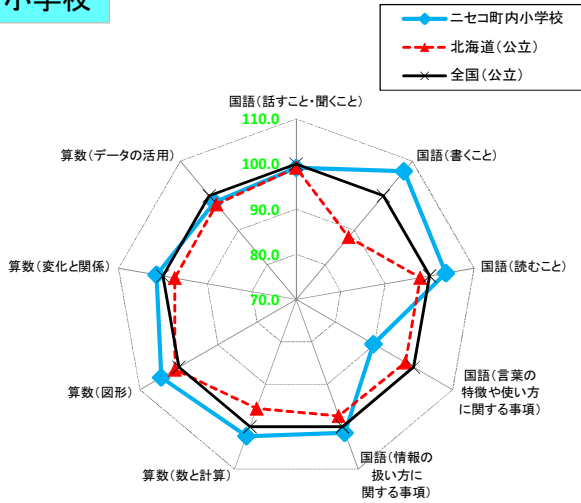
■ニセコ町内の状況及び学力向上策 (小学校数:2校、児童数:56人) (中学校数:1校、生徒数:33人)

【教科全体の状況】

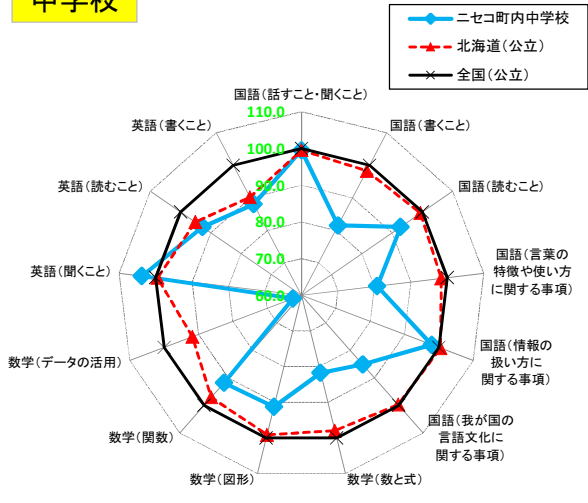
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

平均正答率	小学校	中学校
国語	65	63
算数・数学	64	42
英語	-	44

小学校

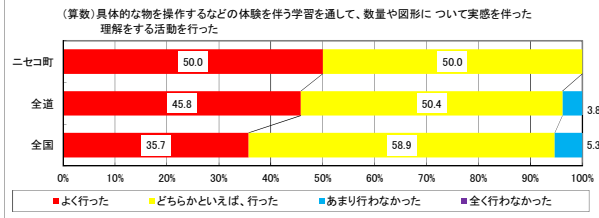
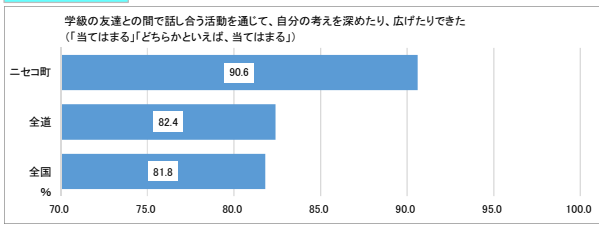


中学校

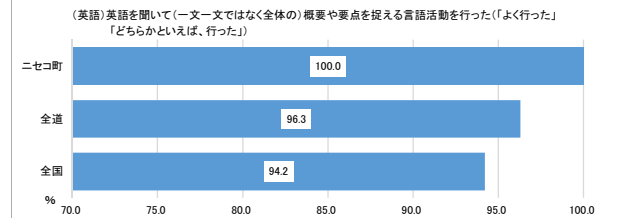
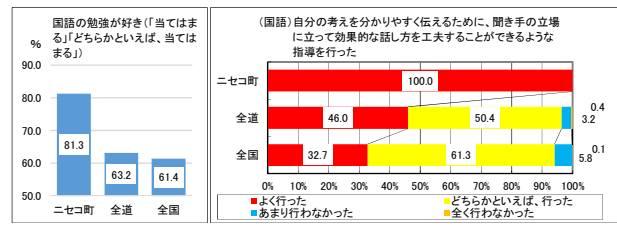


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできるような指導を行ったことにより、国語の「書くこと」「読むこと」の領域、「情報の扱いに関する事項」で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。
算数の授業において、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を持った理解をする活動を行ったことにより、授業改善が図られ、算数の「数と計算」「図形」「変化と関係」の領域で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校
国語の授業において、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立つ効果的な話し方を工夫することができたような指導を行ったことにより、国語の勉強は好きと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
英語の授業において、英語を聞いて、一文一文ではなく全体の概要や要点を捉える言語活動を行ったことにより、授業改善が図られ、英語の「聞くこと」領域で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【ニセコ町の学力向上策】

- ◎ 幼・小・中・高の連携強化や学習規律の統一など「ニセコスタイルの教育」の推進
- ◎ ICT機器を活用した児童生徒の主体的な学習活動や、学習意欲、思考力、判断力、課題解決力を育成する教育の展開
- ◎ 外国人指導助手を活用した生きた英語による児童生徒のコミュニケーション能力と国際感覚の養成

【Webページ】



(R5.11掲載予定)